

平成29年度

本別町教育委員会の活動状況  
に関する点検・評価報告書

平成30年9月

本別町教育委員会

(はじめに)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、点検評価に当たっては、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

このことから、本別町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について学識経験者の貴重な意見を踏まえながら、毎年度点検・評価を行っています。

今回は、「本別町総合教育大綱（平成27年度から平成32年度までの6カ年計画）」をはじめ、各種の教育関係計画及び平成29年度の教育行政執行方針に掲げた施策等について、実施状況や施策の課題、今後の方向性を整理するとともに、一年間における事務事業の管理及び執行並びに活動状況等を踏まえた評価を行い、報告書を作成いたしました。

本別町教育委員会といたしましては、次年度以降についても事務の管理及び執行状況等の点検・評価を行い、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、引き続き教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、今後とも町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年9月

本別町教育委員会

※参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

◎教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告	1
1 教育委員会会議の開催状況	1
2 法規・規則等の制定及び改正状況	5
3 教育委員の活動状況	5
(1) 教育委員会関係事業	5
(2) 各学校関係各種事業	6
4 各種審議会・委員会等審議概況	7
5 教育費予算の状況	10
◎教育委員会活動実績自己点検・評価	12
《学識経験者の活用による意見・今後の方向性》	
6 主な施策の推進状況	14
◎主な施策の実績自己点検・評価	19
《学識経験者の活用による意見・今後の方向性》	

## 教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告

本別町教育委員会教育長（平成30年3月31日現在）

職 名	氏 名	職 業 等
教 育 長	中 野 博 文	

本別町教育委員会教育委員（平成30年3月31日現在）

職 名	氏 名	職 業 等
教育長職務代理者	布 施 耕 一	農 業
教 育 委 員	鈴 木 清 志	非常勤職員
教 育 委 員	丑 若 理 恵	農 業
教 育 委 員	遠 山 倫 子	主 婦

### 1 教育委員会会議の開催状況

- ・ 定例会議 12回開催（内4回を町内小中学校で開催）
- ・ 臨時会議 2回開催
- ・ 議案議決 53件

回 数	開 催 日	主 な 付 議 案 件 等
第1回 （定1回）	4月25日 町体育館	議案第 1号 本別町体育館規則の一部改正について 議案第 2号 本別町町民水泳プール使用規則の一部改正について 議案第 3号 本別町柔剣道場使用規則の一部改正について 議案第 4号 本別町ふれあい多目的アリーナ設置条例施行規則の一部改正について 議案第 5号 本別町社会教育委員の委嘱について 議案第 6号 本別町総合教育研究所所員の委嘱について 議案第 7号 本別町学び輝く学校支援委員の委嘱について 議案第 8号 平成29年度一般会計教育費4月補正予算見積りについて 報告・協議事項 （1）ほんべつ健康ウィーク2017について （2）町内小中学校の運動会・体育祭について （3）教育長動静報告
	5月23日 町体育館	議案第 9号 本別町スポーツ推進委員の委嘱について 議案第10号 本別町スポーツ指導員の委嘱について 議案第11号 本別町学校給食運営委員会委員の委嘱について 議案第12号 平成29年度一般会計教育費6月補正予算見積りについて 報告・協議事項 （1）本別高校間口確保の取り組みについて （2）町内体育祭・運動会について （3）教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第3回 (定3回)	6月22日 勇足小学校	議案第13号 本別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価に関する規程に基づく学識経験者の委嘱について 議案第14号 本別町特別支援教育連携会議規則の一部改正について 議案第15号 本別町特別支援教育連携会議委員及び専門委員会委員の委嘱について 報告・協議事項 (1) 学校訪問報告について (2) 全国学力・学習状況調査について (3) 「7月15日展」について (4) ほんべつ健康ウィーク2017について (5) 本別高校2間口確保の取り組みについて (6) 北海道市町村教育委員研修会について (7) 教育長動静報告
第4回 (定4回)	7月20日 中央小学校	報告・協議事項 (1) 教育次長・教育指導主幹学校訪問報告 (2) 本別高校2間口確保に向けて (3) 教育長動静報告
第5回 (定5回)	8月23日 町体育館	議案第16号 平成28年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る報告について

回)		<p>議案第17号 平成30年度に使用する小学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第18号 平成30年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第19号 平成30年度に使用する教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 全国体力・運動能力中間報告について</p> <p>(2) 図書館・歴史民俗資料館事業について</p> <p>(3) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について</p> <p>(4) 教育長動静報告</p>
第6回 (定6回)	9月20日 仙美里小学校	<p>議案第20号 平成29年度一般会計教育費10月補正予算見積りについて</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について</p> <p>(2) 義経の里スポーツフェスティバルについて</p> <p>(3) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について</p> <p>(4) 教育長動静報告</p>
第7回 (定7回)	10月23日 町体育館	<p>議案第21号 本別町文化賞審議会審議員の委嘱について</p> <p>議案第22号 平成29年度本別町文化奨励賞の決定について</p> <p>議案第23号 平成29年度本別町スポーツ賞並びにスポーツ奨励賞の決定について</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 「食べて学ぶふるさと給食」「親子ふれあい給食」の実</p> <p>主 な 付 議 案 件 等</p>
回 数	開 催 日	
		<p>施について</p> <p>(2) ほんべつ学びの日フェスティバルの開催について</p> <p>(3) 十勝教育を考えるつどいの開催について</p> <p>(4) 町内小中学校学習発表会・文化祭等の日程について</p> <p>(5) 教育長動静報告</p>
第8回 (臨1回)	11月1日 教育長室	議案第24号 本別町教育委員会の人事について
第9回 (定8回)	11月20日 勇足中学校	<p>議案第25号 本別町文化財審査委員の委嘱について</p> <p>議案第26号 平成29年度一般会計教育費12月補正予算見積りについて</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 「ほんべつ学びの日フェスティバル」について</p> <p>(2) 徳島県小松島市立江小学校来町について</p> <p>(3) 町PTA 連合会主催の町長と教育を語る会の開催について</p> <p>(4) 十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会について</p> <p>(5) 教育次長・教育指導主幹学校訪問報告</p> <p>(6) 教育長動静報告</p>
第10回 (定9回)	12月21日 町体育館	<p>議案第27号 本別町社会教育委員の委嘱について</p> <p>議案第28号 本別町特別支援教育連携会議規則の一部改正</p>

		<p>について</p> <p>議案第29号 本別町特別支援教育連携会議委員及び専門委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第30号 平成30年度一般会計教育費予算見積りについて</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 成人式の開催について</p> <p>(2) 徳島県小松島市立江小学校歓迎会について</p> <p>(3) 教育長動静報告</p>
第11回 (定10回)	1月22日 町体育館	<p>議案第31号 平成29年度一般会計教育費1月補正予算見積りについて</p> <p>議案第32号 本別町使用料条例の一部改正について</p> <p>報告・協議事項</p> <p>(1) 平成30年度教育行政執行方針について</p> <p>(2) 教育長動静報告</p>
第12回 (定11回)	2月20日 町体育館	<p>議案第33号 平成30年度教育行政執行方針について</p> <p>議案第34号 平成29年度本別町教育功績者表彰の受賞者の決定について</p> <p>議案第35号 平成29年度本別町少年少女文化奨励賞、スポーツ奨励賞の受賞者の決定について</p> <p>議案第36号 勇足地区学校運営協議会規則の制定について</p> <p>議案第37号 平成29年度一般会計教育費3月補正予算見積りについて</p> <p>議案第38号 学校林設置条例第10条の規定に基づく平成29年度学校林現況等の報告について</p>
回数	開催日	<p>報告・協議事項</p> <p>主 な 付 議 案 件 等</p>
		<p>(1) 平成30年度一般会計教育費予算調整結果について</p> <p>(2) 本別・南三陸ふるさと交流研修会について</p> <p>(3) 町内小中学校卒業式・入学式について</p> <p>(4) 教育長動静報告</p>
第13回 (臨2回)	3月10日 中央公民館	<p>議案第39号 校長・教頭人事の内申について</p>
第14回 (定12回)	3月22日 町体育館	<p>議案第40号 本別町教育委員会の人事について</p> <p>議案第41号 本別町教育指導主幹の委嘱について</p> <p>議案第42号 本別町使用料条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第43号 本別町公民館規則の一部改正について</p> <p>議案第44号 本別町体育館規則の一部改正について</p> <p>議案第45号 本別町立小中学校の施設開放に関する規則の一部改正について</p> <p>議案第46号 本別町町民水泳プール使用規則の一部改正について</p> <p>議案第47号 本別町柔剣道場使用規則の一部改正について</p> <p>議案第48号 本別町野外体育施設管理運営規則の一部改正について</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町柔剣道場使用規則の一部改正</li> <li>・本別町野外体育施設管理運営規則の一部改正</li> <li>・本別町ふれあい多目的アリーナ設置条例施行規則の一部改正</li> </ul> 要綱の制定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町多子世帯の学校給食費に関する減免実施要綱の制定</li> </ul> 要綱の一部改正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町パークゴルフ場の使用に関する要綱の一部改正</li> </ul>
--	--

### 3 教育委員の活動状況

#### (1) 教育委員会関係事業 (計10日・延べ30人)

月 日	事業名等	
平成29年 4月 5日	小中学校教職員等辞令式	委員3人
7月10・11日	北海道市町村教育委員研修会	委員4人
10月 5日	本別町教育研究大会	委員1人
10月17日	本のまち夢づくり講演会	委員3名
11月 3日	本別町文化・スポーツ賞授賞式	委員3人
11月17日	食べて学ぶふるさと給食・親子ふれあい給食	委員2名
11月30日	十勝管内市町村教育委員研修会	委員3人
12月 2日	ほんべつ学びの日フェスタ	委員3人
平成30年 1月 7日	本別町成人のつどい	委員4人
3月10日	教育功績者表彰、少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式	委員4人

#### (2) 各学校関係各種事業 (計14日・延べ24人)

月 日	事業名等	
平成29年 4月10日	各小中学校入学式、本別高校入学式	委員4人
5月28日	本別中学校体育祭	委員1人
5月30日	勇足大運動会	委員1人
6月 3日	本別中央小学校運動会、仙美里小学校運動会	委員2人
8月25日	放課後英語教室 (中央小学校)	委員1人
9月22日	放課後英語教室 (中央小学校)	委員1人
9月30日	本別中学校文化祭	委員2人
10月22日	本別中央小学校学習発表会	委員1人
11月 4日	仙美里小学校学習発表会	委員1人
11月11日	勇足小学校学習発表会	委員1人
12月24日	立江小学校歓迎会	委員2人
平成30年 2月28日	勇足地区コミュニティ・スクール説明・研修会	委員3人
3月15日	勇足中学校卒業式	委員1人

3月23日	各小学校卒業式	委員3人
-------	---------	------

4 各種審議会・委員会等審議概況

審議会名	審議案件等
------	-------

<p>(1) 本別町社会教育委員会</p>	<p>第1回(平成29年5月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①委嘱状交付</li> <li>②報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝社会教育委員協議会理事会について</li> </ul> </li> <li>③平成28年度社会教育事業報告について</li> <li>④平成29年度事業計画について</li> <li>⑤生涯学習ハンドブック(仮称)について</li> <li>⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじ祭り付帯事業「だがしや楽校」について</li> </ul> </li> </ul> <p>第2回(平成29年8月29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業等報告について</li> <li>・今後の行事について</li> </ul> </li> <li>②ほんべつ学びガイド(旧生涯学習ハンドブック)について</li> <li>③全国社会教育研究大会等の参加について</li> <li>④協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんべつ学びの日フェスティバルについて</li> </ul> </li> <li>⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能文化団体の支援について</li> </ul> </li> </ul> <p>第3回(平成30年1月26日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新委員委嘱状交付</li> <li>②報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度事業報告(各担当)</li> </ul> </li> <li>③新年度事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化事業振興会の取り組み「松村組」について</li> <li>・幼児(知育)教育の研究実施について</li> <li>・本のまち夢づくり講演会の内容について</li> <li>・あかげら少年団の募集方法について</li> </ul> </li> <li>④協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児知育教室の計画について</li> </ul> </li> <li>⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・志戸田委員永年社会教育委員表彰受賞について</li> <li>・2月社会教育委員研修会について</li> <li>・使用料条例の改正について</li> </ul> </li> </ul>
<p>(2) 本別町スポーツ推進委員会</p>	<p>第1回(平成29年6月30日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ推進委員について</li> <li>②新年度事業計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度事業実績と平成29年度スケジュール</li> <li>・ほんべつ健康ウィークの総括について</li> <li>・あかげら少年団について</li> <li>・体力増進センター拡充について</li> <li>・少年少女体育大会について</li> <li>・義経の里スポーツフェスティバル(体育の日記念事業)の開催について</li> </ul> </li> </ul>

審 議 会 名	審 議 案 件 等
---------	-----------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道スポーツ推進委員研究協議会（旭川市）について</li> <li>・十勝管内スポーツ推進委員研修会について</li> <li>・先進地視察研修について</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まなびの日フェスティバルについて</li> </ul> <p>第2回（平成29年9月5日）</p> <p>①事業総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかげら少年団について</li> <li>・少年少女体育大会について</li> </ul> <p>②今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかげら少年団について</li> <li>・義経の里スポーツフェスティバルについて</li> <li>・北海道スポーツ推進委員研究協議会について</li> <li>・十勝管内スポーツ推進委員研修会について</li> <li>・先進地視察研修について</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんべつまなびフェスタ2017（仮称）の開催について</li> </ul> <p>第3回（平成29年12月15日）</p> <p>①事業総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかげら少年団について</li> <li>・義経の里スポーツフェスティバルについて</li> <li>・十勝スポーツ推進委員研修会について</li> <li>・北海道スポーツ推進委員研究協議会について</li> </ul> <p>②今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかげら少年団について</li> </ul> <p>③検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2018」の実施について</li> </ul> <p>④スポーツ施設運営、推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力増進センターの拡充関連</li> <li>・健康運動講習会について</li> </ul> <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスコン指導について</li> </ul> <p>第4回（平成30年3月19日）</p> <p>①事業総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかげら少年団について</li> </ul> <p>②今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2018」について</li> <li>・あかげら少年団について</li> <li>・体力増進センター拡充について</li> <li>・少年少女体育大会について</li> </ul> <p>③体育施設整備事業、スポーツ振興事業について</p>
審 議 会 名	審 議 案 件 等

<p>(3) 本別町文化賞審議会</p>	<p>第1回(平成29年10月16日)</p> <p>①教育委員会から諮問書の提出</p> <p>②平成29年度本別町文化奨励賞候補者について 候補者:文化奨励賞 1個人 ※平成29年10月16日教育委員会へ答申 答申:文化奨励賞 1個人</p>
<p>(4) 本別町スポーツ賞審議会</p>	<p>第1回(平成29年10月16日)</p> <p>①教育委員会からの諮問書の提出</p> <p>②平成29年度本別町スポーツ賞及びスポーツ奨励賞候補者について 候補者:スポーツ賞2個人、スポーツ奨励賞1団体 ※平成29年10月23日教育委員会へ答申 答申:スポーツ賞 2個人 スポーツ奨励賞 1団体</p>
<p>(5) 本別町学校給食運営委員会</p>	<p>第1回(平成29年6月27日)</p> <p>①委嘱状の交付 委員 4名</p> <p>②学校給食共同調理場の概要説明</p> <p>第2回(平成30年2月22日)</p> <p>①多子世帯の学校給食費の免除について</p>

## 5 教育費予算の状況

(1) 教育費の予算

平成29年度の教育費の最終予算額（人件費等含む）は853,989千円となり、町一般会計予算総額7,703,459千円（前年度7,898,387千円）に占める割合は11.1%（前年度10.7%）となりました。

(2) 予算の概要（費目ごとの主な事業内容）

- ①教育総務費 128,571千円
  - 教育委員会費 教育委員報酬、学校医報酬、他
  - 事務局費 職員等人件費、事務局運営経費、教育指導主幹賃金、他
  - 教育研究所費 総合教育研究所運営経費
  - 諸費 教職員住宅購入年賦金、本別高校の教育を考える会補助金、学校教育振興会補助金、小学生小松島市交流研修補助金、他
  
- ②小学校費 385,846千円
  - 学校管理費 職員等人件費、公務補賃金、特別支援教育支援員賃金、学校管理運営費、スクールバス運行委託料、他
  - 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性溢れる学校活動費補助金、就学援助費、他
  - 学校建設費 勇足小学校大規模改修工事費（繰越明許費により平成29年度に実施）小学校煙突工事費（繰越明許費により平成30年度に実施）
  
- ③中学校費 93,085千円
  - 学校管理費 公務補賃金、特別支援教育支援員賃金、学校運営費、他
  - 教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、教育用PC購入費、校務用PC購入費、夢と個性あふれる学校活動費補助金、中体連・中文連参加出場費補助金、就学援助費、他
  - 学校建設費 中学校煙突工事費（繰越明許費により平成30年度に実施）
  
- ④社会教育費 93,880千円
  - 社会教育総務費 職員等人件費、社会教育委員等報酬、各種講座及び研修等運営経費、学校支援地域本部事業費、PTA連合会補助金、駒おどり保存会補助金、本別義経太鼓保存会補助金、各種芸術文化大会補助金、他
  - 公民館費 職員等人件費、公民館管理運営費、各種文化振興事業費、文化協会補助金、公民館活動推進費補助金、芸術文化事業振興会補助金、他
  - 図書館費 職員等人件費、図書館管理運営費、施設改修工事費、図書購入費、ファーストブック事業費、本のまち夢づくり講演会及び出前授業（矢崎節夫氏）費、学校図書室支援事業費、他
  - 資料館費 歴史民俗資料館管理運営費、施設修繕費、学校連携体験学習費、「7月15日本別空襲を伝える」等企画展費、他
  
- ⑤保健体育費 152,607千円
  - 保健体育総務費 職員等人件費、スポーツ推進委員報酬、体育館管理運営費、他

- スポーツ振興費 職員等人件費、各体育施設管理運営費、義経の里スポーツフェスティバル開催経費、ほんべつ健康ウィーク開催経費、各体育施設備品購入費、体育協会補助金、各種スポーツ大会補助金、他
- 学校給食費 職員等人件費、学校給食共同調理場運営費、他

10款 教育費（歳出予算）

（単位：千

円）

<b>1項 教育総務費</b>	<b>128,571</b>	<b>4項 社会教育費</b>	<b>93,880</b>
1目 教育委員会費	2,772	1目 社会教育総務費	20,228
2目 事務局費	79,915	2目 公民館費	34,063
3目 教育研究所費	284	3目 図書館費	35,618
4目 諸費	45,600	4目 資料館費	3,971
<b>2項 小学校費</b>	<b>385,846</b>		
1目 学校管理費	93,746	<b>5項 保健体育費</b>	<b>152,607</b>
2目 教育振興費	7,543	1目 保健体育総務費	23,145
3目 学校建設費	284,557	2目 スポーツ振興費	34,938
<b>3項 中学校費</b>	<b>93,085</b>	3目 学校給食費	94,524
1目 学校管理費	39,174		
2目 教育振興費	25,704		
3目 学校建設費	28,207		
予 算 合 計			<b>853,989</b>

## 《 教育委員会活動実績自己点検・評価 》

### 1 教育委員会会議の効果的・効率的運用

教育委員会会議は、定例開催が12回、臨時開催が2回の計14回開催しました。教育委員会会議の開催にあたっては、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育委員活動の活発化と円滑なる会議運営を図るため、教育委員会事務局がある町体育館のほか、授業参観を兼ねて小中学校で計4回開催いたしました。

一般会計教育費の予算編成時においては、教育委員の意見を積極的に反映すべく、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議・審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

### 2 教育課題への対応

各学校が抱える教育課題の対応については、年度当初に各学校長から学校運営・経営方針等についての説明を受けるとともに、教育委員の思いや意見などを学校運営に反映させるべき意見交換等を行っています。また、授業参観や学校行事等へも積極的に参加するなどして、教育委員の意見が学校運営に活かされるよう注視しながら、それぞれのニーズに沿った教育行政の推進に努めてきました。

また、平成28年度から引き続き、学校を核として地域全体で子どもたちの学びを育むため、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた調査・準備を、町内すべての学校を対象に開始しました。この調査・準備は2年間かけて行うもので、勇足地区は平成30年度、本別・仙美里地区は平成31年度の導入を予定しています。

確かな学力の向上については、学校が取り組む指導方法の工夫・改善に向けた方策等を支援するとともに、学校における学校改善プランの見直しや家庭学習の定着化を図るための取り組みも支援しています。また、本別中央小学校に町派遣教員を配置し基礎学力の平準化をめざし、きめ細かな指導を行っています。国際理解教育の推進については、英語を本町の学びの主軸のひとつに掲げ、放課後英語活動等の事業を推進してきました。今年は、国際姉妹都市オーストラリア・ミッチェルから、マイケル・フィリップさんが来町し、小・中・高校等で英語の指導等を行っていただきました。

いじめ・不登校に対する取り組みとして年2回児童生徒にアンケートの実施をし、状況の把握をしています。また、校外生活に対する指導については、各中学校にスクールカウンセラーを配置するなど、きめ細かな指導に努めています。

### 3 教育委員会事務局との連携

教育を取り巻く社会環境は、急速な少子高齢化による社会活力の低下や人口減少など、社会情勢を反映して行く先が不透明な厳しい状況にあります。時代の変化に対応した教育施策を展開するため、教育委員会事務局と連携を図りながら、27年度に策定しました「本別町総合教育大綱」の方針に基づいた施策を確実に実践するよう努めています。

### 4 その他

教育委員会の活動状況や教育行政全般における施策等を広く町民の皆さんにお知らせするため町広報紙の紙面を活用し「活動状況点検・評価報告書」を掲載しました。

## 《 学識経験者からのご意見 》

教育委員会会議は、年間14回の開催で、毎月の定例開催を確保しつつ53件の議案を議決するなど、教育行政執行機関としての役割を果たすとともに、適正な運営が図られています。教育委員の活動についても、学校教育現場への訪問や各種事業等に積極的に参加し、関係機関や保護者、地域住民のニーズを把握する中で、教育委員会事務局と連携しながら適切な教育行政を執行しています。

教育行政の推進については、平成27年度からの新たな教育行政制度の下で教育行政が執行されていますが、今後とも、「政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保」等を基本理念として、教育行政を執行されるよう期待します。

「ほんべつ学びフェスタ」の取り組みについては、少子化等により年々来場者が減少しているなか、その理念と「四つの風」の普及に努め、改めて中身を含めて検討する必要があります。「コミュニティ・スクール」については、勇足地区が30年度、本別・仙美里地区が31年度の本格導入を目指していますが、保護者は勿論のこと、地域住民に対しても理解と協力を得られるよう今後とも丁寧な説明が必要と考えます。また、国際理解教育として英語を本別の学びの主軸に位置付けたことは評価できますが、今後においては小中学校のみならず、保育所、認定子ども園、高校と教育委員会が連携し、英語教育の発展を図る必要があります。

スポーツ振興については、各種事業を展開していますが指導者の高齢化と担い手不足が課題であり、新たな指導者の発掘と、事業内容についても検討すべきと考えます。

今後においても、教育委員会の活動が、広く町民の皆さんに理解されるよう情報発信に努め、教育行政の更なる充実・発展を期待します。

## 《 今後の方向性 》

教育を取りまく社会環境が変動する中、子どもたちが主体的に人生を切り拓いていくことができる「生きる力」を確実に身に付けさせることが重要になりますが、本町教育委員会では、教育委員会の重要性と教育委員の役割についての認識を高めながら、教育委員会の充実と一層の活性化を図り、町民が生涯を通じて潤いのある生活を送るために、地域や関係機関、団体等との連携を更に密にし、効果的な教育施策を展開する必要があります。この基本的な考え方を踏まえ、教育委員会会議の一層の活性化を図りながら、町民の皆さんに信頼される教育行政を執行してまいります。

教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保については、中立公正が極めて重要なことから従前からの合議制を堅持しつつ、一貫した方針の下で執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取組みを推進してまいります。

地域全体で学びを支援する取組みについては、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた取組みを全町的に進めてまいります。

社会教育については、町民の皆さまが芸術や文化、スポーツに親しみ、心豊かな暮らしとなるよう、指導者の発掘や人材育成を含め、効果的な施策を進めてまいります。

本町ならではの取組みである「ほんべつ学びの日」の取組みについては、「ほんべつ学びフェスタ」を通して学びへの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域と連携して4つの風「光風・祈風・夢風・実風」事業を展開してまいります。

教育委員会の活動状況や教育行政の施策等を、町広報紙を活用して「活動状況点検・評価報告書」を掲載するなどして、町民の皆さんに広く情報提供してまいります。

## 6 主な施策の推進状況

### 「ほんべつ学びの日」宣言

平成19年9月11日に宣言した「ほんべつ学びの日」は、未来を担う子どもたちの教育を家庭・学校・地域が手を携えて推進するため、「北海道教育の日」及び「十勝教育の日」の趣旨を踏まえ、本別町ならではの「ほんべつ学びの日」としたものです。

この学びを「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風にたとえて具体的な事業を展開しています。各種事業の推進に当たっては、教育委員会、校長会、教頭会の各教育関係機関・団体等と連携しながら取り組んでいます。

平成29年度は、12月2日に中央公民館で啓発事業を開催しました。楽しめる雰囲気前面に掲げ名称を「ほんべつ学びフェスタ」に変更し、「まなんでつくる ひととまち」をサブテーマに実施しました。成果の発表と参加型イベントを中心に来場者を掘り起こすことが出来ました。また、10月17日には、児童文学者・金子みすゞ記念館長の「矢崎節夫氏」を講師に迎え、学びの日夢風事業として「本のまち夢づくり講演会」、翌日には「小学生対象の出前授業」を開催しました。

### (1) 管理課総務担当

### ① 教育環境の整備

地域住民等と連携した登下校時の安全確保やパトロールの実施し、児童生徒の安全対策に取り組んできました。また、スクールバスの計画的な更新や営繕に努めるとともに、部活動等に配慮した運行時刻・路線を確保するなど、児童生徒の通学環境の充実と安全運行に努めています。

教育施設では、勇足小学校の校舎及び体育館の大規模改修が完了したほか、勇足小学校・仙美里小学校・本別中学校・勇足中学校の煙突改修工事に着手しました。

### ② 本別高等学校への支援策

本別高等学校への支援活動については、本別高等学校及び本別高校の教育を考える会等と連携を図りながら、魅力ある学校づくりのための各種支援策を実施するとともに、町内中学校や近隣中学校は勿論のこと帯広市内中学校も訪問するなど、生徒及びその保護者に伝統ある本別高校をアピールし入学者の確保に努めましたが、平成30年度入学者は32人に止まり、昨年度に引き続き1学級となりました。

今後におきましても少子化、人口減少などにより中学卒業生の増加が見込めないことから、大変厳しい状況にはありますが、伝統ある本別高等学校を是が非でも存続させるために、支援の輪を全町的に広げ、各関係機関・団体等と連携して2間口確保に向けた取り組みをさらに強化してまいります。

### ② 国際交流研修及び小松島交流

国際交流研修については、英語教育を推進する町の国際交流員として、姉妹都市であるオーストラリア・ミッチェルからマイケル・フィリップスさんが9月から約2ヶ月間来町し、小・中・高校や保育所・認定こども園、公民館の英会話講座などで英語指導を行ったり、オーストラリアの風景や文化なども伝えました。

友好都市小松島市の立江小学校との交流研修については、立江小学校の5・6年生の児童が勇足小学校を訪問し、児童や地域の人たちと交流を深めました。

## (2) 管理課学校教育担当

### ① 学校教育

学校教育では、「確かな学力」に支えられた「生きる力」を育成することが重要であることから、「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の三位一体による教育の充実を図り、学校や家庭、地域の協力を得ながら、子どもたちが社会に出てからも自らの人生を生きていく上で必要な「生きる力」が身につくよう取り組んできました。

「確かな学力」の育成では、学力向上を図る学校改善プランの見直しや長期休業中の学習サポートの実施など、各学校の実情に応じた取組みを進めているほか、「本別町学力向上支援委員会」が各学校で取り組む具体策を検証し支援しています。

国際理解教育の推進では、管内在住の外国人を指導助手として町内各中学校に配置し、生徒の実践的な英語によるコミュニケーション能力の育成に努めており、小学校では総合的な学習の時間や外国語授業を活用し、中学校と同様に外国人の指導助手と日本人スタッフによる「英語に慣れ親しむ事業」により、国際社会の将来を見据えた国際理解教育の推進に努めています。

29年度より小学校低学年を対象として英語教室「放課後イングリッシュ」を取

り入れ「聞く、話す」に慣れてもらうよう各小学校で3回実施しました。

また、学校を核として地域全体で子どもたちの学びを育むため、文部科学省の指定を受け、勇足地区においては平成28年度から保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた調査・準備を開始しました。今後は、平成30年度の本格導入に向け、熟議を重ねながら地域住民自らが学校教育を支援する仕組みづくりを検討してまいります。更には、平成29年度から本別・仙美里地区において「コミュニティ・スクール」導入に向けた調査・準備を開始しています。

## ② 特別支援教育

特別支援教育では、障がいの程度に応じた指導を行う特別支援学級の児童生徒のほか、普通学級に在籍する発達障がい等のある児童生徒に対しても、それぞれの教育的ニーズにあった支援を行うため、特別支援教育支援員を小中学校に配置し、教科授業時間のほか学校生活に必要な様々な面でサポートをしています。

また、生まれてから生涯を閉じるまで一貫した支援を継続するため、町福祉部局と連携して「個別の教育支援計画」を策定し、学校における「個別指導計画」と連動させて更なる特別支援教育の充実に努めています。

## ③ 生徒指導及び健康・安全指導

生徒指導については、春の交通安全教室やすきやき隊による通学時の見守り活動をはじめ、町内の関係団体で構成する「子どもを育む環境づくり推進会議」では9月を『みんなで“おはよう”のあいさつ運動月間』とし、多くのボランティアの皆さんの協力を得ながらあいさつ運動と交通安全指導などを実施しています。生活指導連絡協議会においても、具体的に実効性のある対応などを協議しながら本町の児童生徒の健全育成に努めています。

不登校やいじめ対応については、教育委員会事務局員による学校訪問、中学校に配置しているスクールカウンセラー等を活用して、問題解決にあたっているほか、24時間体制の相談電話も開設しています。

## (3) 社会教育課社会教育担当

### ① 第7次社会教育中期計画の推進と検証及び第8次社会教育中期計画の策定

第7次本別町社会教育中期計画の最終年度となる本年度は、平成19年9月に宣言した「ほんべつ学びの日」の基本理念に基づき、中期計画に示した三つの基本目標である「学びのための環境づくり」「学びからの人づくり」「学びを通じてのネットワークづくり」を社会教育の実践活動として位置付け、教育関係者はもとより家庭・地域・各関係機関や団体との相互協力をもとに連携を密にしながら第8次社会教育中期計画を策定しました。平成29年度は新たな推進施策の下、事業実施を図りました。

### ② 通学合宿「ほんべつ元気学宿」

5泊6日の生活体験を通じ、子どもたちの自立心や社会性を培う目的で地域の人たちや中高生ボランティア、教育大学釧路校の大学生などの協力を得て、15回目の「元気学宿」を実施し、大人も子どもと共に学び合う機会を提供しました。

③ 本別・南三陸ふるさと交流研修会（ジュニアリーダー養成事業）

毎年3月と8月に実施している本別・南三陸ふるさと交流研修会は、東日本大震災により平成23年3月には中止を余儀なくされたものの継続実施してきており、本年度においても第33年次の交流研修会を実施し、この研修を通じて、子どもたちの熱き友情と両町の絆をさらに深め、中高生ボランティアの育成に繋げることができました。

④ ほんべつ学（地域学習）

地域の個性、文化、歴史、自然を子どもたちに伝え、大人も含め本別町の魅力再発見と、ふるさと本別の良さを実感できる「ほんべつ学」講座を平成26年度に開設し、4年目となる本年度は、「本別の川魚、太古のほんべつ、」をテーマとして夏と冬の2回開催しました。

⑤ 義経教室（高齢者学級）・成人講座

高齢者に生きがいのある日常生活を送っていただくために、健康の維持・増進をはじめとした総合的な学習の場を提供する「義経教室」を、仙美里・勇足・本別の3地区で開催しており、約90名の方々が各種講座を受講されています。本年度は、健康に係わる講話や防災知識、視察研修（道新印刷工場）、防犯講座、健康リハビリなど8講座を開設し、延べ365名の参加をいただきました。

⑥ 本別町民文芸沖積土

第48号となる沖積土は「趣味」を特集テーマに設定し、19編の寄稿をいただきました。その他にはエッセーや短歌等の全49編の寄稿をいただき、発刊いたしました。

（4）社会教育課文化振興担当

① 芸術文化活動

多くの町民の皆さんに芸術文化への関心を高めていただき、創造的な芸術文化活動を推進するため、町芸術文化事業振興会と協働して「ほんべつ寄席」を開催し、420名以上の来場がありました。また、町文化協会との協働による吹奏楽合同演奏会、音楽祭、文化祭芸能発表会、舞踊と民謡の祭典を開催し、延べ1,238名が来場されました。また、陶芸や絵画、写真や書道、手芸作品などの公民館ロビー展を26回開催し、町民の文化活動発表の場と芸術文化に触れる機会の充実に努めてまいりました。また、「本別町文化協会ガイド」を作成し、町ホームページへの掲載や公共施設にポスターを掲示するなどしたほか、舞台活動の活性化を図るため「中央公民館文化活動推進事業」を2回開催し、町民の文化活動への関心を高めるための新しい取り組みを実施しております。

公民館講座は、成人を対象とした「きらめき講座」「太極拳講座」を開催したほか、ものづくりなどの体験を通して子どもたちに豊かな感性を育てていただくため「子ども体験教室」を4回開催しました。また、英語教育を推進するため6～7月

に『旅行で役立つ英会話講座』を8回、10～11月に『マイクさんと学ぶ英会話講座』を4回開催しております。

## ② 公民館施設の維持・管理等

本年度は、中央公民館においては暖房用主循環ポンプ、大ホール舞台吊物装置、ルーフトレン管などを修繕しています。また、各施設の延命と利便性を考慮した施設整備に努めています。

## (5) 社会教育課スポーツ担当

### ① スポーツの振興・啓発

町民が心身ともに健康で充実した生活を送ることができるように、それぞれの世代に応じて気軽に参加できる各種スポーツ活動を実施しています。

昨年度で終了した町民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に代わるイベントとして、健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2017」を実施し、一週間で誰もが気軽に参加しやすくスポーツや運動に取り組む活動強化週間として、社会体育施設を無料としたほか、主催事業としてラジオ体操やディスコン大会、太陽の丘パークゴルフ大会等を開催し、体育団体等の協力のもと共催事業として運動教室や体験教室などを実施するなど、住民の健康づくりやスポーツの振興、地域の活性化と町民皆スポーツのきっかけづくりに取り組み、各種事業では518人が参加し、期間中に2,138人の方々が社会体育施設を利用されました。

また、子どもたちを対象とした「あかげら少年団活動」や「義経の里スポーツフェスティバル」の開催、町民の健康と体力づくりを実践する「健康運動講習会」など、各種スポーツ団体と連携してスポーツの普及、拡大に取り組みました。「義経の里スポーツフェスティバル」は河川運動公園芝生広場で開催し、「マラソン大会」や「自然・史跡巡りウォーキング」「ゲームラリー」「むかしの遊びコーナー」「縁日コーナー」「お楽しみ抽選会」のほか、商工会青年部の協力を得ながら食育コーナーとして黒豆うどんを提供しました。今後も開催内容等の充実を図ることとしています。

スポーツ施設整備では、体力増進センターのエアロバイク1台購入し施設の充実を図りました。

## (6) 図書館・資料館

### ① 図書館事業

図書館では、「ことばと心を育てる事業」として、胎教からの読み聞かせの大切さを伝え赤ちゃんを心豊かに育てる「ファーストブック事業」、児童文学者・金子みすゞ記念館長の矢崎節夫氏による「本のまち夢づくり講演会」と小学校出前授業を実施しました。また、学校図書室及び保育所・認定こども園、学童保育所等との連携強化、としょかんこどもまつりの開催など、ボランティアとの協働による子どもの読書環境の向上を図り、児童生徒の国語力・表現力の向上や学習意欲を高める取り組みにも努めています。

### ② 資料館事業

資料館では、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える企画展「7月15日本別空襲を伝える」を開催し、本別空襲の資料とともに、全国の軍馬慰霊碑の資料を展

示しました。また、各学校と連携し、ボランティアの協力による本別ならではの平和教育を発信したところです。

更に、その他企画展と関連講座、昔体験学習などを通して、歴史、文化、自然や平和など、子どもから大人までを対象にふるさとの理解を深める幅広い事業を展開しました。

## (7) 学校給食運営事業

### ① 安全・安心な学校給食の提供、並びに食育活動の推進

学校給食は、児童生徒の健康保持に大きく寄与していますが、健全な食生活を営むことができる判断力や望ましい食習慣を身に付けていただくため、栄養教諭による食育指導を本別中央小学校で週2回行うとともに、平成28年度からは勇足小学校や仙美里小学校への学校訪問を実施するなどして、食育指導の充実を図ってきています。また、町内の農業生産者を訪問し、「安全で安心」な食材が生産から給食に提供されるまでを児童生徒に紹介するとともに、給食調理場の職員自らが生産現場を理解し食育活動に繋げる取り組みも行っているほか、地元産食材の使用率向上のための協議も各団体と進めています。

毎月発行している「給食だより・献立表」については、新メニューや行事食の紹介、食育目標のポイント、地元産野菜の紹介などを掲載し、町ホームページにも載せながら食育の推進を図っています。11月には「食べて学ぶふるさと給食」や「親子ふれあい給食」を企画し、生産者の方にも各小学校にお越しいただき、親子で地場農畜産物や地元加工食品の認識や理解を深めてもらう取り組みも行っています。更に、PTA保護者等による試食会を実施して意見をいただくなど、子どもたちに美味しく喜ばれる学校給食の提供に努めています。

平成26年4月から供用を開始した新学校給食共同調理場では、各小中学校のみならず、へき地保育所（勇足・仙美里）にも給食を提供しているほか、本別高等学校の生徒も92.3%が給食を利用しています。また、アレルギー食調理室では、小中学校で13名の児童生徒に約20種類の除去食を中心としたアレルギー対応食を提供しています。

## 《 主な施策の実績自己点検・評価 》

教育委員会では、平成19年9月11日に「ほんべつ学びの日」を宣言し、子どもたちの健全な精神と豊かな心を育む「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風事業を柱に、大人と子どもと一緒に日々学ぶ取り組みを進めています。本年度も9月を「学びの日月間」として全町挙げてのあいさつ運動を取り組むとともに、12月には楽しめる雰囲気前面に掲げ「ほんべつ学びフェスタ」を開催し、広く町民の皆さんに学びの日の趣旨と理念の普及啓発を行ってきたところですが、更なる普及に向け啓発方法の工夫改善を図る必要があります。

学校教育の推進につきましては、全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた学校改善プランの見直しと実践、確かな学力の向上を図るための授業改善、家庭学習習慣の定着化、特色ある教育課程の編成、小中連携による放課後学習の実施等に努めています。また、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた準備・研究を進め、勇足地区は30年度、本別・仙美里地区は31年度の導入を目指しています。国際理解教育の推進につきましては、小学校低学年を対象として英語教室「放課後イングリッシュ」を取り入れ「聞く、話す」に慣れてもらうよう各小学校で3回実施しました。

教育環境の整備につきましては、教育用パソコンと校務用パソコンを年次計画で更新し、老朽化した学校施設についても大規模修繕を行うなど、児童生徒が興味・関心をもって学べる環境づくりと安全で快適な環境づくりに努めています。

本別高校への支援につきましては、本別高校の教育を考える会と連携し、通学費補助や新入学生の制服購入助成などの支援を行うとともに、魅力ある本別高等学校を積極的にPRしてきたところですが、平成30年度入学生が1学級に止まったことから、更なる支援策を講じる必要があります。

学校給食につきましては、安全で安心な地元産食材の使用率を向上させるとともに、アレルギー対応食も提供するなど、町民のニーズに沿った取り組みを進めています。

社会教育の推進については、本町の魅力や地域の輝きを再発見するため「ほんべつ学」を継続するとともに、通学合宿の「ほんべつ元気学宿」、少年リーダー育成事業、義経教室（高齢者学級）等を継続開催するなど、家庭・地域・各関係機関や団体と連携を密に、教育を通じた「人づくり」や「町づくり」を視点に事業を展開しています。

芸術文化の振興につきましては、文化祭をはじめとした各種舞台発表やロビー展の開催など、文化団体やサークル等と連携し、自主的な文化活動に対する支援と、我が国の歴史と伝統から生まれ守り伝えられてきた伝統文化の継承活動に努めています。

図書館では、赤ちゃんを心豊かに育てるための「ファーストブック事業」、講演会や出前授業などの児童生徒の国語力・表現力向上や学習意欲を高める取り組み、あらゆる世代の読書環境向上を図る事業を実施しました。

資料館では、企画展「7月15日本別空襲を伝える」を開催し、軍馬の資料から命の大切さを後世に伝えるとともに、歴史や文化、平和を通して子どもから大人までがふるさと本別の理解を深める多様な事業を展開しています。

スポーツ振興については、新たに、チャレンジデーに代わる健康スポーツ週間事業「ほんべつ健康ウィーク2017」に取組み、期間中の体育施設を無料開放する

とともに、教育委員会の主催事業とスポーツ団体等と連携した運動体験教室、義経教室などの機会を利用した軽スポーツの普及、子どもたちへのスポーツ活動支援など誰もがスポーツや運動に触れ、健康づくりに親しむ機会を多く提供する事に努めました。

## 《 学識経験者からのご意見 》

教育委員会事務局の各担当が進める重点施策については、本町の実情に応じた教育、文化及び、スポーツの振興を図るため各種事業全般にわたり、しっかりとした取組みがなされています。

しかしながら、学識経験者が点検・評価するにあたり、教育委員会の取組みを詳しく知る必要があることから、各種事業に参加できる体制整備を検討願います。

通学路の安全確保対策については、関係機関との連携による「あいさつ運動」や「青色パトロール」の実施により、子どもたちが安心して登下校できる環境にあり、今後とも継続すべき事業と考えますが、参加者の減少等、今後検討しなければならない課題もあります。

英語を本別町の学びの軸に位置付け、英語になれ親しむ授業の展開等、大変いい取り組みだと思いますが、小学校からの段階ではなく、保育所・認定子ども園など幼少期から実施すべきと考えます。

本別高等学校への支援活動については、本別高校の教育を考える会とともに活動を展開していますが、平成30年度入学生の2間口確保には結びつかず残念な結果となっています。今後は、小中高校の連携したスポーツ活動等についても模索する必要があります。

今後も、全ての担当部局において、町民のニーズを的確に捉え、事業の再編成等、費用対効果を十分に検証しながら各種事業を推進されるよう期待します。

## 《 今後の方向性 》

学校教育事業につきましては、児童生徒一人一人が「生きる力」を身に付けることができるよう、全国学力・学習状況調査及び、全国体力調査等の結果を分析し、確かな学力と体力の向上を図るための授業改善に努めるとともに、今後とも、チーム・ティーチングによるきめ細かな指導の充実に努めてまいります。コミュニティ・スクールにつきましては、平成30年度に勇足地区において、平成31年度に本別・仙美里地区において本格導入をめざします。

また、英語を本別の学びの軸に位置付け、小中学校のみならず、誰もが気軽に参加できる英語学習の場を設定してまいります。

通学路の安全確保対策については、関係機関の協力を賜りながら「あいさつ運動・青色パトロール」事業を継続実施してまいります。

本別高校への支援活動については、文武両道の魅力ある本別高校のPRに努め、本別高校の教育を考える会を通して新たな支援策を検討し、全町挙げての支援活動を展開してまいります。

社会教育事業については、平成29年3月に策定した「第8次社会教育中期計画」に基づき、家庭・地域・関係機関や団体との連携を密にしながら推進していきます。また貴重な町文化財についても、環境整備に努めてまいります。

少子高齢化が進み、社会情勢が激しい昨今であります。平成27年度に策定した「本別町総合教育大綱」を基本に、教育環境の整備充実と「家庭・学校・地域」の繋がりを更に深め、教育行政の適切な執行と推進に努めてまいります。

## ほんべつ学びの日宣言

子どもたちは今、100年を越える歴史と恵まれた自然の中で明るく元気に成長しています。

しかし、揺れ動く社会の中であって、私たちには子どもたちが将来に向かって大きな夢を抱き、自己の力を十分に発揮できる環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことが大切です。

私たち町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子どもたちとともに学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心をはぐくむまちづくりを推進するため、ここに「ほんべつ学びの日」を宣言します。

- 1 みんなの力で、明るく元気な子どもをはぐくみましよう
- 1 郷土や家族を愛し、平和を祈り、命を大切に作る心をはぐくみましよう
- 1 将来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする心をはぐくみましよう
- 1 食に感謝し、スポーツに親しんで健康な身体をつくりましよう

平成19年9月11日制定

本別町教育委員会

## 本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る学識経験者の活用

### 学識経験者

経 験 歴	氏 名
元教育委員	我 妻 勇 次
元教育委員会職員（元町職員）	安 藤 修 一
子ども・子育て会議会長	田 西 昭 子
元本別町PTA連合会会長	西 山 誠